

震災後の栃木県北地域における乳幼児保護者アンケート調査

この度、宇都宮大学福島乳幼児妊産婦支援プロジェクト（FSP）では、東日本大震災と原発事故が、栃木県北地域の乳幼児保護者世帯に与えた影響について調べるために、那須塩原市および那須町の全域において、アンケート調査を実施することに致しました。今後必要な対策を考えていくうえで、皆様の率直な御意見をお聞かせいただければ誠に幸いです。アンケートの集計結果は、今年の秋以降に県北で開催予定の報告会において、保護者の皆様にお伝えする予定です。ご協力いただけますよう、お願いいたします。

<目的>

東日本大震災から2年以上が経過しますが、震災後の育児を取り巻く状況がどのように変化し、また現在にいたるまで、どのような影響を受けているのかを調査し、実態の把握に努めます。さらにアンケートの結果を分析し、子育て世帯が抱える問題を明らかにすることで、国、県や市町村宛てに必要な支援ニーズを伝え、また震災が風化しつつある現代、社会に問題を提起し続けることをも目的としています。

<お願い>

アンケートへの回答は任意です。ご協力いただける場合には、アンケートの設問にご回答の上、配布時にアンケート用紙が入っていた封筒に入れていただき、幼稚園・保育園の担任宛に提出していただけますようお願いいたします。提出の際には無記名のままで結構です。

■期日 2013年 9月19日（木）

【事業名】 震災を受けての乳幼児保護者アンケート調査（県北地域）
【実施者・問合せ先】 福島乳幼児・妊産婦支援プロジェクト（FSP）
責任者名：清水奈名子（国際学部准教授）
（事務局：宇都宮大学 国際学部 附属多文化公共圏センター）
Tel:028-649-5228
URL: <http://sicpmf.blog55.fc2.com/>
【協力者】 那須塩原市 ・ 那須町

<個人情報の取扱等について>

1. 本調査では、個人が特定できる情報について回答する項目は設けておりません。もし仮に個人情報が含まれる回答があった場合には、「国立大学法人宇都宮大学個人情報保護規程」に基づいて適切に対応致します。
2. 集計後のアンケート結果は、後日幼稚園を通して希望者にお伝え致します。また個人情報等は特定できないように統計的に処理をしたうえで、その結果を公表する予定です。